

本資料は、2020年8月に公表した「TOK Vision 2030」を
2024年2月に見直したものです。

東京応化工業株式会社 「TOK Vision 2030」



2024年2月13日
東京応化工業株式会社

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

ありたい姿（定性側面/定量側面）

01

定性側面

- 顧客が感動するイノベーションを提供する
- 世界のステークホルダーから信頼される
- 高い技術力を育成し続け、グローバルで存在感を示す
- SDGsに貢献することを意識し、企業価値を持続的に向上できる
- 皆が生き活きと誇りをもって働ける

定量側面

	2020年度	(見直し前) 2030年度	(見直し後) 2030年度
● 売上高	1,175億円	2,000億円	3,500億円
● EBITDA	223億円	450億円	770億円
● ROE	6.7%	10%以上	13%



© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.



デジタル技術の急速な発達と新たな展望



4つの分野で豊かな未来の実現に貢献 更なる成長を目指す



© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

当社を取り巻く環境 <外部環境リスク>



© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

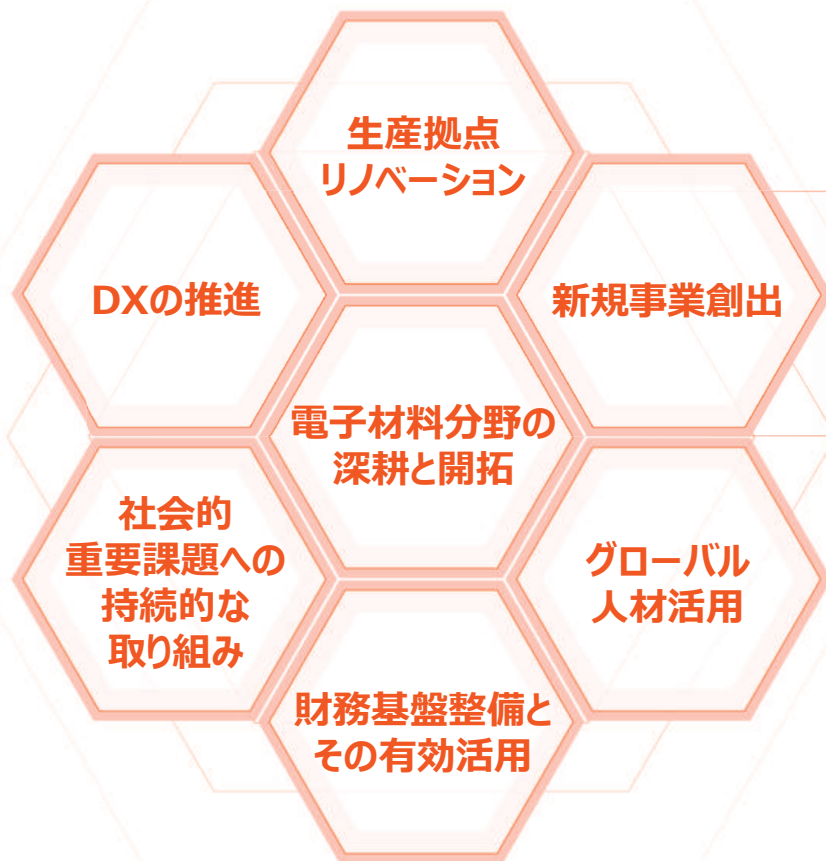
豊かな未来、社会の期待に化学で応える
“The e-Material Global Company™”

未来への価値創造



* 「e-Material」とは「Electronic Material」の略

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.



2030年に向けた

7つの戦略



100年企業への継承

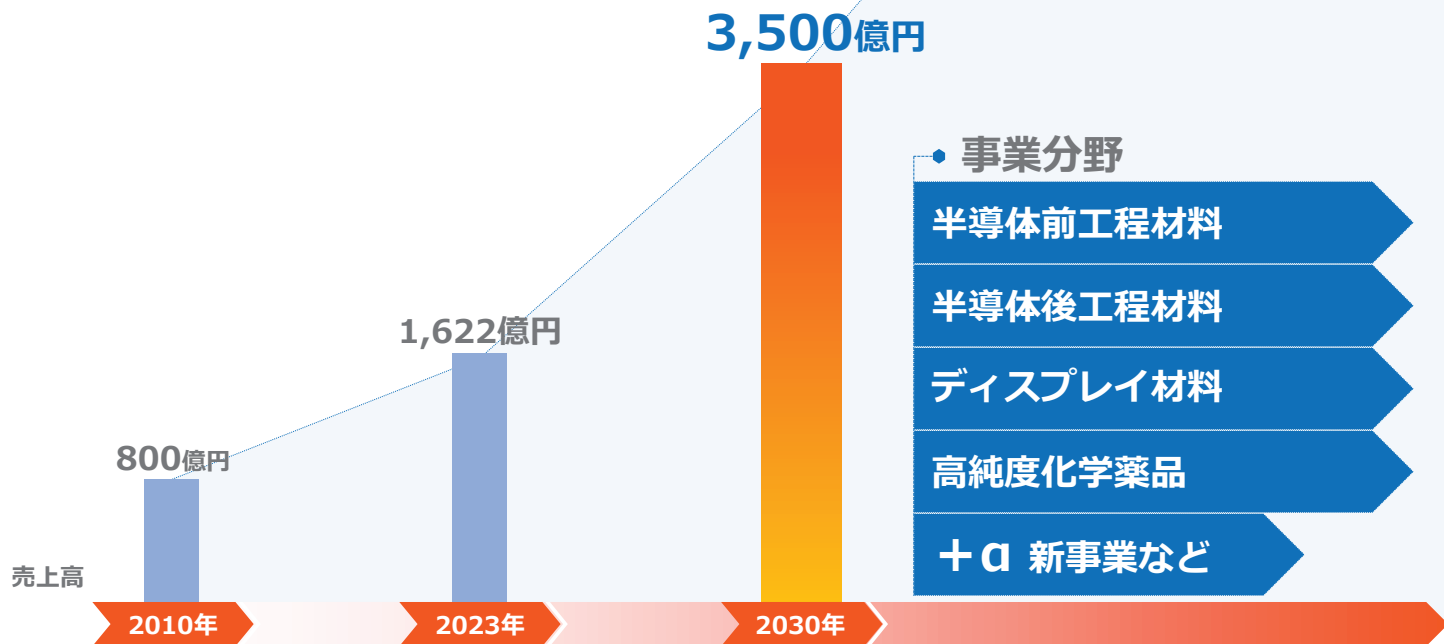


© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.



- 2040年の事業ポートフォリオを見据えた新事業創出
- M&Aを通じた事業の拡大

100年企業
(2040年)



BSマネジメントの推進

キャッシュ創出力の最大化

EBITDAを用いた
各事業戦略のモニタリング

効率的な経営資源活用

ROIC・ROICツリーの展開

強靱なBS構築

適切なキャッシュリザーブ維持
資金調達力の強化・多様化





グローバル人材活用

人材開発・組織開発

ダイバーシティ, エクイティ&インクルージョン(DE&I*)

- 顧客の新たな価値創造につながるソリューションへの対応



生産拠点のリノベーションによる新たな価値の創造

高品質生産体制の構築

環境・安全衛生体制の強化



DXの推進

サプライチェーン&エンジニアリングチェーンを軸とした情報共有基盤の再構築

- MI (Materials Informatics)
- スマートファクトリー等



*多様性、公正性、包括性の頭文字をとった概念

© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.



人財、ITデジタル分野のさらなる強化のため専門組織を新設

人財本部

<主な役割>

- ① 多様性に富んだ母集団の形成
- ② 人財育成
- ③ DE&Iの推進
- ④ エンゲージメントの向上



ITデジタル本部

<主な役割>

- ① 業務プロセスの整備
- ② スマートファクトリーの推進
- ③ データの可視化・活用
- ④ TOKグループのITインフラ整備

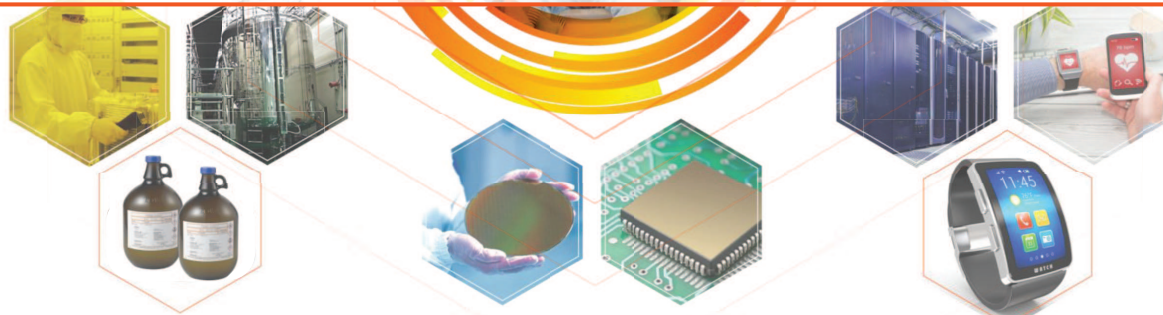


© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.



社会ニーズ

豊かな未来、社会の期待に化学で応える
“The e-Material Global Company™”



© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.

www.tok.co.jp

<ご注意>

本資料の将来の予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの将来予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。



© 2024 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.